

# SDGsの先進都市を目指して

55th Anniversary

北九州市



「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、信頼される  
「グリーン成長都市」へ



平成30年7月30日

北九州市 企画調整局 政策部長 榊尾 美栄子

# SDGsの達成に向けて「市民力」を生かして挑戦



**第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞 (2017年12月26日)**  
280団体以上が応募  
**12団体受賞 (自治体は北九州市と下川町のみ)**



首相官邸での表彰式 (写真提供：内閣広報室)

**OECDから「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定される (2018年4月23日)**  
10～12都市選定 (ドイツ・ボンなど)  
**アジア地域で初めて選定**



共同記者会見

**国より「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定される (2018年6月15日)**  
29都市選定 (うちモデル事業は10都市のみ)



市長会見



# 市民が中心になり課題を解決し、時代を切り拓いた都市・北九州

＜過去＞

公害克服と国際協力

市民の力で、公害を克服し、  
経験（ノウハウ）で世界に貢献

市民（婦人会）による  
「青空がほしい」運動



「産・官・学・民」が連携して  
公害を克服



公害克服のノウハウを活かした  
国際協力（ボランティア等）

- 国連「グローバル500」受賞
- 「国連地方自治体表彰」受賞

＜現在＞

環境未来都市の推進

市民とともに、「循環型社会」や  
「低炭素社会」を目指した都市づくり

『循環型社会づくり』に挑戦  
「北九州エコタウン」【H9年】

『低炭素社会づくり』に挑戦  
「環境モデル都市」【H20年】



「環境・社会・経済」の課題に挑戦  
「環境未来都市」【H23年】

OECDが「グリーンシティ」に選定  
(パリ・シカゴ・ストックホルム・北九州)  
OG7エネルギー大臣会合の開催



＜未来＞

SDGs先進都市づくり

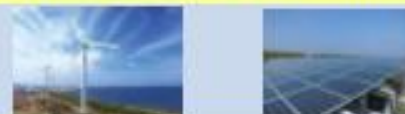
市民主役で、これまでの取組を  
「SDGs」の取組につなげる



＜環境未来都市の取組を深める＞  
市民の力の再構築(ESD、自治会など)



次世代(低炭素)エネルギーの拠点化



環境国際協力から環境国際ビジネスへ



- 都市ブランドの向上
- 「北九州モデル」の世界発信

過去

市民力(市民の力)・チャレンジスピリット

☆「市民」には、団体(NPO・自治会等)・企業・大学なども含む

未来

# 「持続可能な都市づくり」がスタート

**「世界の環境首都」を目指して  
グランドデザイン(2004年10月取りまとめ)**

**「真の豊かさにあふれるまちを育み、  
未来の世代に引き継ぐ」**



環境首都創造フォーラム(2003年)

**北九州市基本構想・基本計画**

**「元気発進！北九州」プラン(2008年12月策定)**

**「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」**

- 世界の環境首都
- アジアの技術首都





# 「北九州市環境未来都市」から「SDGs未来都市」へ

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## 世界に「北九州市」を発信

17の「ゴール」の多くは、  
「北九州市環境未来都市」の  
既存施策と関連

これまでの取組を推進すること  
で、SDGsの達成に貢献

## ＜北九州市環境未来都市の主な取組＞

- 北九州市地域エネルギー拠点化推進事業
- 城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業
- 日中大気汚染・省エネ対策共同事業
- 官民連携による海外水ビジネス
- 健康で元気な高齢者をつくる多世代交流事業

【環境：低炭素・省エネ】

【環境：低炭素・省エネ】

【環境：水・大気】

【国際環境ビジネス】

【超高齢化】

など

# 北九州市のSDGs戦略(ビジョン)達成に向けた取組

「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、信頼される  
「グリーン成長都市」

## 【3つの柱】

**【経済】**  
「人と環境の  
調和により、  
新たな産業を拓く」

(1) 先進のまちを目指した  
新たなビジネスの創出

(2) 新たな産業の核となる  
エネルギー産業の創出

**【社会】**  
「一人ひとりが  
行動し、みんなが  
輝く社会を拓く」

(1) ジェンダー等の取組による  
誰もが活躍できる場の創出

(2) 市民参加型の活動による  
生活の質(QOL)の向上

**【環境】**  
「世界のモデルと  
なる持続可能な  
まちを拓く」

(1) 他都市のモデルとなる  
エネルギー・マネジメント・  
循環システムの構築

(2) コンパクトなまちの形成による  
ストック型社会の創造

(3) 技術と経験を生かした  
国際貢献の推進

## 【基本的な考え方】

## 【主な具体的取組】

・介護ロボット等の開発・製造及び導入  
・次世代自動車産業の拠点化推進

・「洋上風力ファーム」等の  
地域エネルギー拠点化

・すべての女性が輝く社会づくり  
・高齢者のいきがいづくり  
・総合的な障害者の支援

・ESD活動の推進  
・災害に強いまちづくり

・資源リサイクル拠点の形成  
・ごみの減量と廃棄物発電  
・フードリサイクルの推進

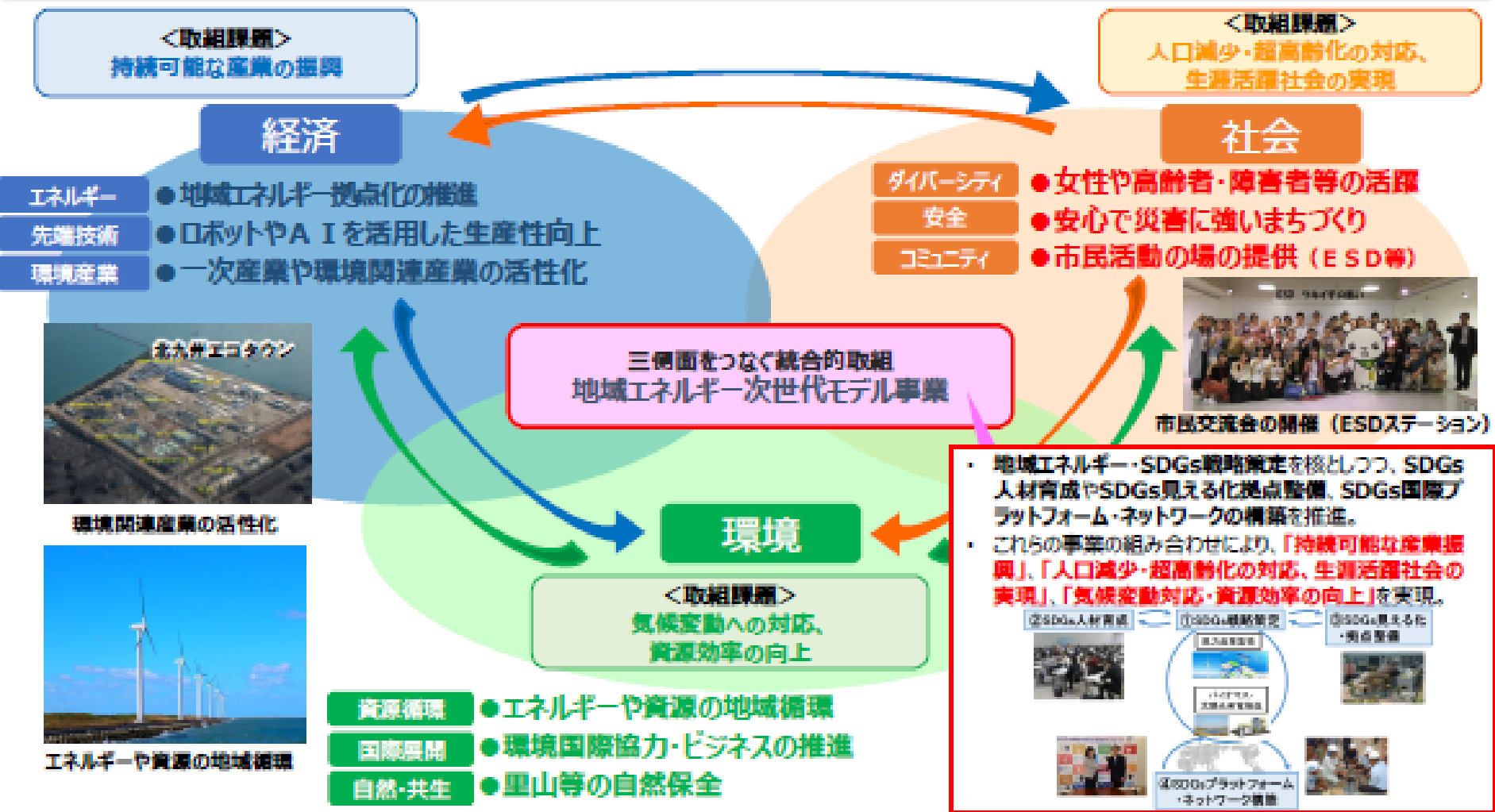
・集約型都市構造の形成  
・人と環境に優しい交通戦略の推進  
・公共施設マネジメントの推進

・官民連携による海外水ビジネスの展開  
・「アジア低炭素化センター」を核とする  
環境改善の取組  
・石けん系泡消火剤など世界に展開する  
商品の開発

# ■ SDGs 達成につながる取組

## 「地域エネルギー一次世代モデル事業」

- ・ エネルギーを核としつつ、技術力・市民力を活かした課題解決事業を展開し、国内外へ普及展開する。
- ・ 具体的には、低炭素エネルギーの振興や環境産業の活性化、女性や高齢者・障害者の活躍、エネルギー・リサイクル産業の技術向上と海外展開等を進める。



# ■ S D G s 達成につながる取組

## 「市民を中心とした E S D や市民活動の推進」 <市民力の再構築>



大学生の運営による、市民交流会「ツキイチの集い」



「グリーンバード」による、まちなかごみ拾い

### <北九州 E S D 協議会の取り組み> 「地域・N P O + 大学」のコラボレーション

4 質の高い教育を  
みんなに



11 住み続けられる  
まちづくりを



大学生による、子ども向け E S D 講義

### <女性活躍の推進>

北九州市の附属機関及び市政運営上の会合（H29.7.1現在）

女性委員参画率 50%超 ※指定都市で初！

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



8 働きがいも  
経済成長も





# ■ SDGsの達成につながる取組事例

## 「環境国際協力と環境国際ビジネスの推進」<国際協力からビジネスへ>

### ● 国際技術協力

各国へ専門家を派遣

各国から研修員を受入

- ・ 国内外に貢献する上下水道
- ・ 経験やノウハウの蓄積
- ・ 人材育成
- ・ 人的ネットワークの形成



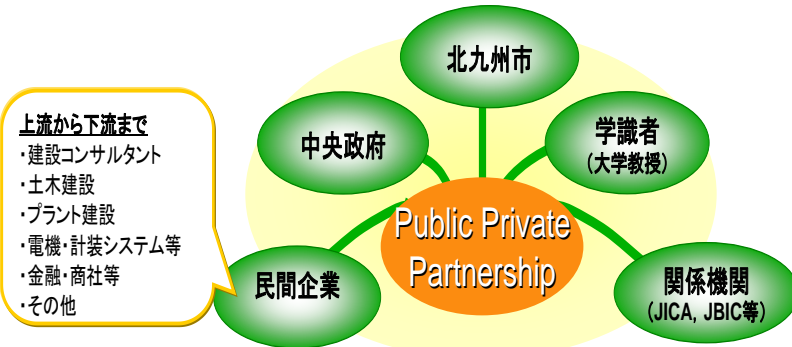
プノンペンの奇跡



カンボジアでの技術協力の様子

### ● 海外水ビジネス

「北九州市海外水ビジネス推進協議会」と連携し、ベトナム、カンボジア、インドネシアを中心に海外水ビジネスを展開



北九州市海外水ビジネス推進協議会



ベトナムに完成したU-BCF



カンボジア工業手工芸省と覚書締結

### ■ 主な成果

- 水ビジネス受注件数：51件（H29.8時点）  
（カンボジア、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、中国）
- 「プノンペンの奇跡」に導く

6	安全な水とトイレを世界中に	8	働きがいも経済成長も	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	17	パートナーシップで目標を達成しよう

# ■ 「SDGs」達成に向けた新たな取組（普及啓発）

## <背景>

【従前】既存の団体（自治会や協議会等）に加入し、まちづくり活動を行う



【現在】個人や任意団体等で活動を行う市民が増加



## （仮称）「北九州SDGsクラブ」の創設

- 「SDGs達成」に賛同する市民等を幅広く募集。  
「活動の担い手」として会員登録。
- 会員に対して、SNS等で情報発信。  
（会員からの情報提供も受けて、事務局より発信。「双方向の情報交換を実現」）
- 会員向けイベントや交流会を開催。楽しく学びながら、SDGsの取組（モデル事業等）への理解を深めてもらい、「活動の担い手」として参画してもらう。
- 会員企業の活動支援（CSR・CSV）。（雇用確保、ビジネスチャンス拡大等へ）



# ■北九州市にとってのSDGs

## ～SDGsに取り組み「都市のステータス」をさらに向上させる～

北九州市環境基本計画

副題：環境首都・SDGs実現計画


～「真の豊かさ」にあふれるまちを創り、  
未来の世代に引き継ぐ～

(平成29年度～33年度)

平成29年11月  
北九州市

◎本市の強みを生かしたSDGsへの貢献


2015年9月、国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）は、2030年までに達成を目指す17の目標（ゴール）と、そのための169のターゲット（ターゲット）が設定され、その中で、17の持続可能な開発のための目標（SDGs）が掲げられました。



本市は、様々な課題への対応を行って来た歴史があり、環境政策や防災・セキュリティに基づき、また、環境を基盤として、現在も環境・経済・社会が総合的に発展を遂げています。SDGsを機軸に高めることは、こうした強みをさらに発揮し、本市の発展を国内外にアピールするに役立つ大きな意味があります。また、魅力向上にも役立つこととなります。

一方で、SDGsは環境・経済・社会に関する幅広いゴール・ターゲットを設定していますが、その中で、本市の強みを生かすことができる目標がいくつかあると考えています。また、強みのある目標は、本市の強みをさらに発揮し、国内外にアピールするに役立つ大きな意味があります。また、魅力向上にも役立つこととなります。

そのため、環境に関する目標においても、本市に合った目標を設定し、取り組んでいく必要があると考えています。また、魅力向上にも役立つこととなります。



6

北九州市環境基本計画（改訂）



市長会見（ジャパンSDGsアワード受賞）

### 「オール北九州」でSDGsに取り組む！



「SDGs」に取り組むことで、

- 世界に「北九州市」を発信・貢献
- 市民生活の質（QOL）の向上
- 都市ブランド力の向上



# 北九州が変われば日本が変わる 日本が変われば世界が変わる



インドネシア・スラバヤ(環境姉妹都市)にて

## ご清聴ありがとうございました